

2023年度 学員会年次支部協議会 第1回全体会議

日 時 2023年5月13日(土) 15:30～

場 所 中央大学駿河台キャンパス 18階会議室1・2

議 案

- 議 題 1. 令和4(2022)年度事業報告及び決算報告について------(P.1)
2. 令和5(2023)年度事業計画(案)及び予算(案)について------(P.6)
その他

- 報告事項 1. 2022年度年次支部協議会第3回全体会議(書面審議)の結果に
ついて------(P.10)
その他

以 上

◆「懇親会」の開催について(ご案内)

時 間 午後5時20分頃～

場 所 「泰南飯店」(千代田区一ツ橋2-6-2 教育会館2階)

電話:03-5211-2180

*3月まで仮住まいの一ツ橋ビルの隣のビル

会 費 5,000円

*19階のラウンジは5月15日(月)から営業開始のため、外部の会場となりました。

2023年度 学員会年次支部協議会 第1回全体会議及び懇親会 出席者

支部名	全体会議			懇親会		
三十年会	堀合 辰夫	加藤段一		堀合 辰夫	加藤段一	
白門三一会						
白門三二会						
白門三三会						
白門34会	相澤 克典			相澤 克典		
白門三五会						
白門三六会						
白門三七会						
白門三八会						
白門三九会	小竹 正倫	藤森 宏一		小竹 正倫	藤森 宏一	
白門40年会						
白門四一会	柳下 敏男			柳下 敏男		
42年白門会	牧 教明	原澤 康嗣		牧 教明	原澤 康嗣	
白門43会						
白門44会	吉永 匡宏	松木 茂夫		吉永 匡宏	松木 茂夫	
白門45会	相場 有二	室 勝弘		相場 有二	室 勝弘	
白門46会	半澤 勉	才野 智裕		半澤 勉	才野 智裕	
白門48会				佐藤 愛子		
白門50会	清野 強	本田 俊彦		清野 強	本田 俊彦	
白門51会						
白門53会	関口 和仁			関口 和仁		
白門54会	掛水 省三	伊藤 充				
白門55会	眞島 和己					
白翠会(S56年)						
白門57ネット	浜田 英明	乗兼 浩明		浜田 英明	乗兼 浩明	
白門58会	柳 幸季	中川 順一		柳 幸季		
白門1984会	林 裕治	堀淵 茂	田邊幸紀/鬼頭淳子	林 裕治	堀淵 茂	鬼頭 淳子
白門60会						
白嵐会(S62年)						
白門63会						
平成元年白門会	小川 学			小川 学		
平成二年	山本 卓	清水 裕之	大島 章嗣	清水 裕之	大島 章嗣	
白扇会(H3年)						
平成11年白門会	久保			久保		
2007	吉田					

令和5年5月13日

大学・学員交流部・・・2022年度事業実施(決算)報告

大学・学員交流部 浜田、掛水

- 1、 決算額 78,580円 / 予算額 120,000円
費消率 65.5%

- 2 開催したイベント
 - ① 2023年2月4日・土曜日 「総合政策学部・実積、中村ゼミからのOB向けプレゼン会」を多摩キャンパス11号館にて開催実施・・・今回7回目
当日アンケート回収し、後日広報部より実積、中村先生へ手交。
・3年ぶりで対面での開催。プレゼン会終了後Cスクエアにて懇親会実施。
・先生2名、学生7名、OB15名 計24名
○費消した金額・・・28,240円(図書カード@2,000円×9名、他懇親会費用等)

 - ② 2022年6月5日・日曜日 「一龍齋貞奈の二つ目昇進の会」をオンラインZOOMにて開催実施・講師一龍齋貞奈さん(2009年商会計卒)。参加者26名。
ZOOMホスト・広報部、ブレイクアウトルーム機能により懇親会開催。
・白門57ネットが主催する落語会に加え、年次支部協議会が主催する講談の会を昨年に引き続き実施。・・・一龍齋貞奈さん、2022年4月に二つ目昇進が決定。
○費消した金額・・・40,000円(講演料)+10,340円(昇進祝い伊勢丹ギフト送料込み)

 - ③ 2022年7月10日・日曜日 白門57ネット主催「中大落語会」がオンラインZOOMにて開催実施・・・高座は林家つる子さん
57ネット含め全体で48名参加。ブレイクアウトルーム機能により懇親会開催。
○費消した金額・・・0円(白門57ネット主催のため)

 - ④ 2022年11月13日・日曜日 役員・顧問BBQ懇親会を開催・舞浜オーリーブの庭・グランピングエリア。参加者9名。費用は参加者負担・会費6,000円

 - ⑤ 学生後援部が所管するスポーツ応援のうち、バレーボール部を担当。

以上

2023年5月13日

執行部役員会（役員/顧問）ご参加の皆様

中央大学学員会 年次支部協議会
学生後援部：久保・吉田

2022年度活動報告

A：キャリア形成に寄与する学生支援企画（振返り）

- ・2022年度、对学生対象のプログラムは3回全てオンラインにて実施
グローバルに絞ったキャリア形成を考える会（4/16）、自分にとってのキャリアは何か、考えるきっかけを掴む導入プログラム（10/15）、パラレルキャリアについて考えるきっかけを掴むプログラム（12/3）。4月は約110名、10月は約10名、12月は約15名参加
- ・昨秋はキャリアセンター主催のプログラムも参加者が大変少なく、コロナ禍が少し落ち着き、キャンパスライフ以外に視点が移っていることから、キャリアセンターのプログラム実施時期も23年度から変更。我々の導入プログラムも前期に時期を変更。
- ・一新会支部（U35 若手 OBOG 会）とのコラボレーションを本格化、23年4月より執行部体制変更、関係者が増えることを期待（23/3/6：Zoomで顔合せ）
- ・キャリアセンター（池田副部長、担当：北田氏）との関係性は、例年通り極めて良好
- ・学生のアンケート結果を見ると、各種プログラムで（自身で考えることなく、安易に）明快な答えを求める傾向あり。考えるきっかけを提供するワークをプログラムで盛り込むと、ワーク開始時に半数がフェードアウトする等、本質的な問題点が浮き彫りとなる
- ・ここ数年の実施振返りより、考え方に共感できる30代の登壇社会人を複数人確保できたことから、次年度は固定することで、社会人側のコミットメントアップにも期待

B：スポーツ応援企画（振返り）

年次支部協議会に関係者がいる、学生後援部の企画遂行に対してリレーションの構築が多分に寄与することから、その関係性を強化することを目的に2022年度も実施。

●バレーボール

大学学員交流部からコメント

●準硬式野球

- ・2022年、リーグ戦春・秋は2冠達成、トーナメント戦は3月の関東大会優勝、6月ルーキーズ/11月社会人交流は準優勝、8月の全国大会はベスト8。21年が圧巻だったが、22年も優秀な結果
- ・2022年8月の全国大会から、新横断幕を掲示して応援（右記）
- ・池田監督より、年次支部協議会のメンバーに、直接試合観戦で応援してくださっていることに、感謝の意をいつも頂く



C：経費見込：54,230円（執行済）

22,220円（Zoom：年間Pro契約、22,110円）+（振込手数料、110円）・23年2月執行
32,010円（横断幕購入）・22年8月下旬執行

事業概要と目的

学員全体の緊密なネットワーク作りを構築する一環として会報を発行し、HP 推進と共に年次支部協議会の広報活動を活発化させ中央大学の貢献に寄与する。学員・学生・教職員への広範囲的な取材活動を通じ、大学関連行事、支部活動の情報提供を行ない、各支部の相互理解、世代間の連携、交流を深めることを目的とする。更に新卒業生に対しても、卒業時に全員に会報を配布し、学員会や年次支部協議会の活動を積極的に PR し、若い年代層の参加を促し、卒業後のサポートづくりを推進する。

2022 年度事業報告

2022 年度は情報源である各支部の活動も活発には行われず、自粛要請などもあり取材活動も思うように出来なかったが、駅伝部の大活躍で三大大学駅伝中心の記事を目玉特集として掲載出来た。

① 年次支部ニュース第 17 号 (2022 年 11 月 20 日発行)

2022 年秋号は 6 頁に頁数を減らして、主に出雲駅伝とホームカミングデー関連を掲載した。昨年のホームカミングデーもオンラインで開催されたが、その中でも特に、明治大学学友会会長の北野氏と中大学員会長の久野氏との対談や、卒業 50 周年企画で 47 白門会支部長が歌い継がれてきた【惜別の歌】誕生当時のお話などの記事で、少しでも多くの方にオンラインでのホームカミングデーを見て頂くよう PR する記事や、年次支部協議会の 2 人のニューフェイスの女性役員紹介と、大学・学員交流部からは講師一龍斎貞奈さんの二ツ目昇進お祝い記事など、活躍する女性にスポットをあてた内容とした。

② 年次支部ニュース第 18 号 (2023 年 3 月 10 日発行)

2023 年春号は、卒業式の日例年通り大学各学部事務室にお願いをして、新卒業生全員に約 6500 部配布した。年次支部ニュースを創刊した頃は、大学に配布するのがまだ難しく卒業パーティの会場に持ち込んだりしていたが、最近では快くご協力を頂いている。

今回の第 18 号の内容は巻頭言での久野会長から卒業生に向けてのお祝いのメッセージや、箱根駅伝総合第 2 位という輝かしい結果を残した駅伝部の 4 年生にアンケート(Q&A)をお願いし、4 年間の想いを語ってもらったが毎年、駅伝区間を走った選手だけではなく、当日走れなくてもチームを支えた仲間の選手たちの想いも一緒に届けたいと藤原監督にご協力頂き続けてきました。また 2 年前から沿道で応援する地域支部などの WEB での特設サイトも大学との連携で開設され、好評戴いているので紹介しました。他に女性白門会による女子学生キャリア支援や応援セミナーなどの開催報告や、千葉の流山支部長からは、中大出身の著名人を招いての毎年のイベントで、今回はヤクルト小川 GM から村上選手との関わりのお話しや、ノンフィクション作家の門田隆将氏との交流会の報告があり、年次支部協議会からは OB 向けの学生によるプレゼンテーション大会を開催し、今年は総合政策学部の学生、先生が中心になり活発な意見交換がなされ、OB と学生との交流も好評だった報告記事を掲載しました。

発行部数・費用

① 17 号～ 発行部数 (1000 部) 発行費用 237340 円

② 18 号～ 発行部数 (7500 部) 発行費用 443749 円

上記①+②合計 本部への申請分 681089 円 は承認入金済。

③ 郵送費 1870 円

④ 駅伝部 (選手謝礼クオカード 20000 円+部への支援金 10000 円=30000 円) ③+④計 31870 円

2023 年度事業計画 (案)

秋頃、HCD 特集の第 19 号 700 部、2024 年 3 月には卒業生特集の第 20 号 7500 部を発行予定。

「年次支部協議会の IT 化推進事務局」

2023/05/13

報告者 小川学

(1)2022 年度事業報告及び決算報告について

●今年度のご報告

- ・年次支部協議会からのお知らせ
- ・各活動のお知らせ・報告
- ・年次支部協議会での資料登録
- ・年次支部協議会ニュースの全巻保管
- ・会員間の直接メッセージ交換の場
- ・リモート会議の設定・実施

(2)2022 年度事業決算報告について

●決算報告

サイトプラン費用	5190 円 x 12 ヶ月	62280 円
データ量増加分の Disk 料金/年		11480 円
資料 scan 費用		3000 円
リモート会議のライセンス契約 1 年分		<u>22110 円</u>
合計		98,870 円

以上

年次支部協議会 2022年度 決算報告書

1. 収入の部

- (1) 年会費収入は、納入協力の29支部の納入額。2019年度から年会費(分担金)を改定(10,000円→15,000円)。
- (2) 懇親会収入は、新型コロナウイルス感染拡大に伴い、3回全てを開催中止としたため、収入なし。
- (3) 事業活動収入は、本会の広報誌「年次支部ニュース」第17号及び第18号(卒業記念号)の発行費用に対する助成金。
- (4) その他の収入は、普通預金の利息収入。

2. 支出の部

(1) 事務局費

- ① 会議会合費は、懇親会費の個人負担額(=懇親会収入)であるが、懇親会が3回とも中止のため、支出なし。
- ② 通信費は、執行部役員会、全体会議の開催通知(大半の支部にはメール送信)、年会費納入依頼等の郵送料。
- ③ 印刷費は、会議等の資料印刷(コピー)が主であるが、オンライン又は書面審議による開催のため、2022年度は支出なし。
- ④ 消耗品費は、年次支部協議会事務局の文房具等であるが、2022年度は支出なし。
- ⑤ 交際接待費は、解散年次支部総会出席「包み金」等に支出。
- ⑥ 手数料は、各種支払い諸費用及び経費立替者への振込手数料。
- ⑦ IT化推進部門費は、年次支部協議会ホームページの更新・管理及びリモート会社へのライセンス契約等の経費。

(2) 事業支援費

- ① 大学・学員交流部費は、新卒支部の設立支援、年次近接支部間交流への支援、ホームカミングデーへの協力・参加を主体とするが、講談師による講談の会及び総合政策学部ゼミのプレゼン発表会を開催した。
- ② 学生後援部費は、中大キャリアセンター協力のもと、キャリア形成に寄与する学生支援企画(OBの協力による情報提供、基調講演、レクチャー、進路相談会等)を「オンライン」で実施した。また、スポーツ応援企画を大学・学員交流部と協力して、本会の関係者を通じ、その関係性を強化することを目的に応援企画を実施し、支援する。2022年度は、準硬式野球部を応援した。
- ③ 広報部費は、本会が発行する広報誌「年次支部ニュース」(10月と3月に2回発行。3月は卒業生向けの企画・掲載で配布)は、新型コロナウイルスの感染拡大により取材等が制限されたが、例年通り2回発行した。

2022年度年次支部協議会 収支計算書

(2022年4月1日から2023年3月31日まで)

(単位:円)

収入の部				支出の部			
科目	予算額	決算額	差異	科目	予算額	決算額	差異
年会費収入	420,000	435,000	△ 15,000	事務局費	640,000	138,260	501,740
懇親会収入	420,000	0	420,000	会議会合費	420,000	0	420,000
事業活動収入	700,000	681,089	18,911	通信費	50,000	11,270	38,730
会報発行費補助	700,000	681,089	18,911	印刷費	30,000	0	30,000
その他の収入	1,000	29	971	消耗品費	10,000	0	10,000
				交際接待費	20,000	22,870	△ 2870
				手数料	10,000	5,250	4,750
				IT化推進部門費	100,000	98,870	1,130
				事業支援費	920,000	845,769	74,231
				大学・学員交流部費	120,000	78,580	41,420
				学生後援部費	100,000	54,230	45,770
				広報部費	700,000	712,959	△ 12,959
				コロナ対策支援募金	1,000,000	1,000,000	0
				予備費	100,000	0	100,000
小計	1,541,000	1,116,118	424,882	小計	2,660,000	1,984,029	675,971
前期繰越金	3,680,663	3,680,663	0	次期繰越金	2,561,663	2,812,752	△ 251,089
合計	5,221,663	4,796,781	424,882	合計	5,221,663	4,796,781	424,882

次期繰越金 ①普通預金 2,577,711
 ②現金 235,041
 計 2,812,752

2023年5月10日

学員会年次支部協議会

会計幹事職務代行 清野 強



会計監査報告書

私は、学員会年次支部協議会の2022年度(2022年4月1日から2023年3月31日まで)の決算報告書(収支計算書)について会計監査を実施しました。

会計監査は決算報告書の各項目を調査し、帳簿、預金通帳並びに関係証憑について監査を行った結果、その内容はどれも正確かつ適正であり、決算報告書(収支計算書)と相違ないことを認めます。

2023年5月11日

年次支部協議会 会計監査

P5

相場有二



令和5年5月13日

大学・学員交流部・・・2023年度事業計画(案)

大学・学員交流部 浜田、掛水

1、 事業の目的

- ① 年次支部間の世代を越えた学員同士の情報交換・親睦・交流を実現するためイベントを企画、また既存イベントを情宣する。対面開催を基本とする。
- ② 現役学生等への交流を通じて大学が指向する「One Chuo」の実現に寄与する。
- ③ 学生後援部と連携し、特にバレーボール部の情報発信、応援に寄与する。

2. 今年度の事業概要

- ① 学生のOB向けゼミ連大会企画の実施。・・・過去7回実施済。
 - ・初回・経済学部、2回・経済、商学部、3回・商学部、4回・経済学部
 - 5回・経済学部、6回・経済学部、7回・総合政策学部。
 - ・本企画は、学生・指導教員より過去7回とも高い評価を得ているもの。
 - ・本年度は、商学部 OR 総合政策学部を対象とする。駿河台キャンパスで実施予定。
- ② 「一龍斎貞奈の講談の会」の開催・・・毎年定例化の予定。
 - ・白門出身の講談師一龍斎貞奈さんの「講談会」を6月3日・土曜日に駿河台キャンパスにて開催、終了後19Fレストランで懇親会を実施することが決定。
- ③ 白門57ネット主催の「中大落語会」の案内と参加協力の依頼。
- ④ 主に役員・顧問の皆様対象の懇親会の実施。・・・年2回程度を予定。(工場見学・BBQ等)。5月の予定で法学部・茗荷谷キャンパス見学ツアーを実施見込み。
- ⑤ 本会学生後援部が企画するスポーツ応援のうちバレーボール部の情報提供、応援活動の実施。

3. 予算案

120,000円・・・前年予算額を踏襲

以上

2023年5月13日
中央大学学会 年次支部協議会
学生後援部：久保・吉田

2023年度活動計画（案）

A：キャリア形成に寄与する学生支援企画

- ・2023年度、第1回オンラインプログラム（自分にとってのキャリアは何か、考えるきっかけを掴む導入プログラム）での開催日は、2023/6/3（土）午後で決定
13：30～13：35・・・冒頭挨拶等
13：35～13：55・・・一新会加藤さんによる、考えるきっかけを掴むインプット説明
13：55～14：45・・・パネルディスカッション（ファシリテーター入れて6名予定）
14：45～15：00・・・全体でのQ&A
15：00以降、質問ある学生の個別対応（Google Meetなどで、MAX～16：00）
- ・低学年、特に1年生の参加が見込まれることから、キャンパスライフでの在り方を盛り込み、学生生活からその後のキャリアデザインまでのタイムラインを自身で意識させることを企図
- ・併せて、最近あまりHPで開示されなくなった、社会人の一日の生活や、卒業後●年、●●年でのキャリアの変遷を見せることで、学生が自身のキャリアデザインを考えるためのイメージ醸成も企図（これは、個々人のキャリアなので、一例であることを強く訴える必要があり、今迄は回避してきたが、関係者振返りの会でも強く意見が出されたため、当日のプログラムに反映）
- ・春1回、秋1回を検討。秋実施内容については、コロナ禍で、学生と社会人との接点を対面でなかなか作れず、キャリアセンターより、集団でOB/OG訪問が気軽にできる会を企画検討していただけないか（23/3/2 キャリアセンターとの打合せより）リクエストがあったため、一新会支部（U35若手OBOG会）の会員を中心に登壇社会人を検討

B：スポーツ応援企画

年次支部協議会に関係者がいる、学生後援部の企画遂行に対してリレーションの構築が多分に寄与することから、その関係性を強化することを目的に2023年度も継続して実施

- バレーボール
- ・2023年度も大学学員交流部のお力添えを頂くことで合意、大学学員交流部からコメント
- 準硬式野球
- ・池田監督とのやりとりは引き続き久保が担う
- ・トーナメント/リーグ戦観戦のお声がけを、23年度からは年次支部全体に拡大して実施予定（但し、試合の日程が直前に決まることから、メールのみでご案内）
（3月関東大会、4～5月：春のリーグ戦、6月：ルーキーズ、8月全国大会、9～10月：秋のリーグ戦、11月：社会人との交流戦）
- ・5/5（金・祝）に5人で日大戦観戦（この日の勝利で、春のリーグ戦優勝が決まる）

C：経費見込：22,220円

22,220円（Zoom：年間Pro契約、22,110円）＋（振込手数料、110円）・24年2月予定
他費用は現時点で未定

2023年5月13日

事業計画案及び予算案

1. 事業名称 「IT化推進」プロジェクト
2. 事業主体 中央大学年次支部協議会
IT化推進委員会事務局 責任者氏名 小川 学
3. 事業の目的
 - ①IT化することにより年次支部協議会メンバー間の連絡を容易にする。
 - ②各年次支部の活動の活性化を支援する。
 - ③年次を跨った活動の活性化を支援する。
 - ④リモート会議の設定・実施
4. 事業概要
 - ①年次支部協議会メンバーに対する連絡網の構築
 - ②各年次支部のホームページ作成支援
 - ③年次を跨った共通ホームページの作成
5. 実施時期 2023年4月1日～2024年3月31日
6. 収支予算(案)

収入	概要	金額	支出	概要	金額
前年度繰越		0	交通費		0
年次支部拠出金		98,870	会議費		0
学生会事業費		0	サイトプラン	5190円 x 12ヵ月	62,280
会費		0	会議ライセンス		22,110
			Scan費用		3,000
			Disk料金		11,480
合計		98,870	合計		98,870

7. 期待される成果(過去の実績)
 - ①郵便費用が削減されるので、通信費のコスト削減
 - ②各年次支部内の告知が容易になるので、年次支部内活動の活性化が図れる。
 - ③年次を跨った支部間の告知が容易になるので、年次を跨った活動の活性化が図れる。
 - ④年次支部協議会資料の保管書庫

8. 事業費申請額 98,870円

※詳細計画書添付(無)

年次支部協議会2023年度 予算書(案)

1. 収入の部

- (1) 年会費収入は、前年度納入協力等の28支部を計上(2019年度から年会費(分担金)を10,000円→15,000円に改定)。
- (2) 懇親会収入は、参加者負担金を計上。今年度は対面開催により、5月、12月及び3月の3回分を計上。
- (3) 事業活動収入は、広報部担当の本会の広報誌「年次支部ニュース」発行費用に対する助成金。
- (4) その他の収入は、普通預金の利息等を計上。

2. 支出の部

今後も「オンライン」を使用した会議や各事業部門毎の打ち合わせ等が考えられることから、必要な経費(ZOOMのライセンス契約)を含めた予算額を計上した。

(1) 事務局費

事務局費は、年次支部協議会運営に関わる共通経費科目を計上。

- ① 会議会合費は、懇親会費の個人負担金を計上。※収入の「懇親会収入」と同額計上(今年度は3回分)。
- ② 通信費は、執行部役員会、全体会議の開催通知、年会費納入依頼、次期幹事選出依頼等の郵送料を計上。
- ③ 印刷費は、会議等の資料印刷(コピー)代等を計上。
- ④ 消耗品費は、年次支部協議会事務局用文房具等を計上。
- ⑤ 交際接待費は、本会のHCD冊子等への公告宣伝、総会等招待への包み金等を計上。
- ⑥ 雑費【「手数料」から科目変更】は、各種諸費用支払いの振込手数料や雑費等を計上。
- ⑦ IT化推進部門費は、年次支部協議会ホームページの更新・管理費及びリモート会社へのライセンス契約料を計上。

(2) 事業支援費

事業支援費は、年次支部協議会の1局3部制のうち事務局を除く3部(大学・学員交流部、学生後援部、広報部)の各部における事業実施に伴い必要な経費等を計上。ただし、原則として予算額は前年度予算額・決算額を勘案して計上。

- ① 大学・学員交流部費は、新卒支部の設立支援、年次近接支部間交流への支援、ホームカミングデーへの参加協力の他、中大落語会(又は講談の会)及びゼミ連のプレゼン発表会等の支援のための経費を計上。
- ② 学生後援部費は、中大キャリアセンター協力のもと、キャリア形成に寄与する学生支援企画(OBの協力による情報提供、基調講演、レクチャー、進路相談会等)を実施する。また、スポーツ応援企画を大学・学員交流部と協力して、本会の関係者を通じ、その関係性を強化することを目的に応援企画(当面、準硬式野球部とバレーボール部)を実施し、支援する。
- ③ 広報部費は、例年どおり本会の広報誌「年次支部ニュース」を年2回発行するための経費(取材等の経費を含む)を計上。
- ④ コロナ対策支援募金は、感染者数の減少等を勘案し、今年度は見合わせることにする。

2023年度年次支部協議会 収支予算書(案)

(2023年4月1日から2024年3月31日まで)

(単位:円)

収入の部				支出の部			
科目	予算額	前年度予算額	増減	科目	予算額	前年度予算額	増減
年会費収入	420,000	420,000	0	事務局費	880,000	640,000	240,000
懇親会収入	630,000	420,000	210,000	会議会合費	630,000	420,000	210,000
事業活動収入	700,000	700,000	0	通信費	40,000	50,000	△ 10,000
会報発行費補助	700,000	700,000	0	印刷費	50,000	30,000	20,000
その他の収入	1,000	1,000	0	消耗品費	10,000	10,000	0
				交際接待費	30,000	20,000	10,000
				雑費	20,000	10,000	10,000
				IT化推進部門費	100,000	100,000	0
				事業支援費	920,000	920,000	0
				大学・学員交流部費	120,000	120,000	0
				学生後援部費	100,000	100,000	0
				広報部費	700,000	700,000	0
				コロナ対策支援募金	0	1,000,000	△ 1,000,000
				予備費	100,000	100,000	0
小計	1,751,000	1,541,000	210,000	小計	1,900,000	2,660,000	△ 760,000
前期繰越金	2,812,752	3,680,663	△ 867,911	次期繰越金	2,663,752	2,561,663	102,089
合計	4,563,752	5,221,663	△ 657,911	合計	4,563,752	5,221,663	△ 657,911

2023年5月11日

学員会年次支部協議会

会計幹事 清水 裕之

2023年5月13日

年次支部支部長 各位

中央大学学員会年次支部協議会
代表幹事 清 野 強

2022年度年次支部協議会 第3回全体会議 [書面審議] 採否結果について (報告)

2023年3月31日付で開催した2022年度第3回全体会議 [書面審議] において、審議事項1と審議事項2について採否をお諮りしたところ、全ての審議事項について承認されましたので下記のとおりご報告いたします。

記

審議事項1. 2023年度会議開催日程 (案) について

承認 (承認: 支部 否認: 0支部)

審議事項2. 2023年学校法人中央大学選任評議員候補者推薦委員会委員 (年次枠2人) の選出及び評議員候補者 (年次枠4人) の推薦について

承認 (承認: 支部 否認: 0支部)

<参考>

中央大学学員会年次支部協議会会則 (抜粋)
(議決)

第9条 年次支部協議会において議決する場合には、1支部1票の出席幹事の過半数をもって決定する。

以 上